



理想の市長像とは

無党派 山口 良樹

問 市長は現在3期目、在職10年になります。市民に、あるいは市職員にとって理想的な市長像とはどういったものなのか、市長の考えを伺います。

答（市長）：選挙公約について、その約束を守り、実現させることが第一の使命です。実現できない場合もありますが、その場合でもしっかりと説明責任を果たしていくことが重要です。それ以外の市の事業に関するさまざまな問題、課題については、常に10年後、20年後を見据えて考えていくことが必要です。

1つの政策を推進する中では、痛みも、批判も出てきます。それらがあつてこそその改革ですので、乗り越えられなければ、海老名の将来は無いと考えます。

また、スピード感を持って推進することによって、市民のため、市のためになっていくと考えます。良いことも悪いこともすぐ報告、連絡、相談をする、それを常に心がけていく中で、市職員との良好な関係もできていきます。私一人では市を引っ張っていくことはできません。市職員と同じ方向に向かって進んでいくことが必要であると考えます。



あそびっ子クラブの今後は

市民ネットの会 奥村 正憲

問 放課後子ども事業としての、市の全児

童が対象であるあそびっ子クラブは、自由な遊びを通して児童間の交流を促進し、創造性や自主性を養うことによって、児童の健全な育成を図ることを趣旨としています。

しかし、事業開始当初からこれまでの間に都市化が進み、また遊び場の減少や女性の就業率向上に伴い、留守家庭児の増加などが生じてきています。

そのような中で、子どもは社会が育てる時代になってきています。児童数や学校施設、保護者の就労状況、地域特性に応じて学校がある日の放課後のみの活動から、「遊びの場」と「生活の場」、さらには「学びの場」として開設時間の延長、活動プログラムの充実などを図っていくべきと考えますが、市の見解を伺います。

答（市長）：市では、現在子ども子育て計画を策定中です。本計画に放課後児童対策を盛り込む予定ですが、その前段としてあそびっ子クラブの利用状況や運営ニーズなど、実態を調査し分析を実施します。その結果を踏まえ、また、あそびっ子クラブと学童保育をどう融合させていくかについても今後、検討していきます。

その他の質問

- ・国の考えている介護保険制度についての市の考えについて
- ・障がい児の特別支援教育について
- ・野外教育施設富士ふれあいの森の廃止案の否決理由について



中学校の完全給食実施を

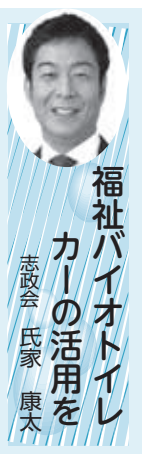
市民ネットの会

西田 ひろみ

問 市内中学校の昼食は、ミルク給食と弁当を基本とし、外注弁当の利用もできる弁当併用外注方式です。いま、中学生の孤食、生活習慣病などが問題になっていることから、食と健康への正しい知識が必要で、給食は、栄養と食の安全に配慮した食事をクラスで一緒に食べることに意義があり、食育基本法の「食育は生きる上での基本」の実践です。外注弁当は1食460円で、保護者負担は250円、市負担が210円で、注文しない生徒に市負担分は支給されません。食育と公平性の観点から、全生徒への給食提供が必要で、完全給食に取り組む意思があるか伺います。また、アレルギー対応食の安全な配食と完全給食の実施に向けて、自校方式を増やし、センター方式と組み合わせる調理場の充実についても伺います。

答（教育担当理事）：外注弁当の申し込みが3割、残りの7割程度の保護者の方は持参弁当で対応している実態から、完全給食を実施する必要はないと考えます。

調理場の充実については、新たに調理場を設置するのではなく、現在の調理場のさらなる質の向上と衛生管理の徹底を図り、内容充実にも努める考えです。



福祉バイオトイレカーの活用を

志政会 氏家 康太

問 障がい者が屋外のイベントなどに参加したくても障がい者用トイレが絶対的に不足していることから、参加をあきらめている場合が多いことを耳にします。障がい者と障がいのない者との生活条件を可能な限り同一にすることを当たり前とした社会、いわゆるノーマライゼーションの構築が必要で、市内の民間企業が福祉バイオトイレカーを制作し、NPO法人によって運用しています。市は障がい者の外出支援策として福祉バイオトイレカーの活用について、災害時どのような活用を想定しているのか伺います。またNPO法人への支援策をどのように考えられているのか伺います。

答（市長）：障がい者にとって、トイレに関することは、外出を妨げる要因の一つになっています。市では昨年開催した屋外での障がい者イベントにバイオトイレカーを活用しました。今後はどのイベントに必要で派遣してもらうかを全庁的に整理し、その上で予算措置をし、NPO法人と年間契約をしていきます。災害時には福祉避難所のトイレ対策に協力いただくため平成22年8月に災害時における福祉バイオトイレに関する協定を締結しました。

その他の質問

- ・海老名駅東口地区の今後について